

第1章 はじめに

1. 計画策定の目的と位置づけ

本市では、平成25年4月に新たな都市計画マスタープランをスタートし、JR行田駅周辺を「都市拠点」として位置づけ、にぎわいの創出などに向けた環境整備を行っていきます。

この中で、先導的な取組みであるリーディングプロジェクトの1つとして、「JR行田駅の駅前広場再整備」を位置づけ、今後5年間を目途に、重点的な取組みを行っていきます。

本計画は、これらの方針を受けて、JR行田駅周辺地区での、交通結節機能の強化や都市景観の形成、駅周辺市有地等の低・未利用地の利活用方策を含め、都市拠点にふさわしい魅力ある駅前の機能形成に向けた実現化計画を策定することを目的としています。

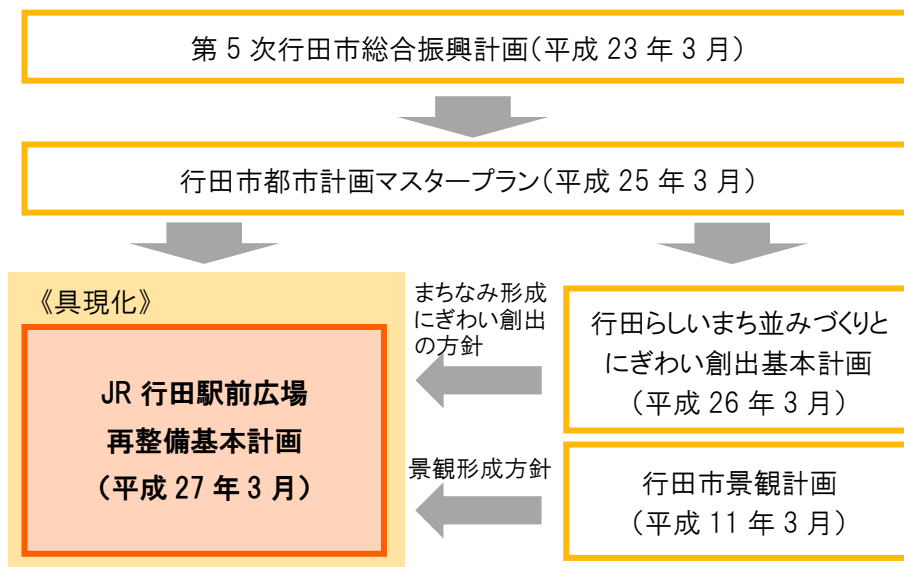
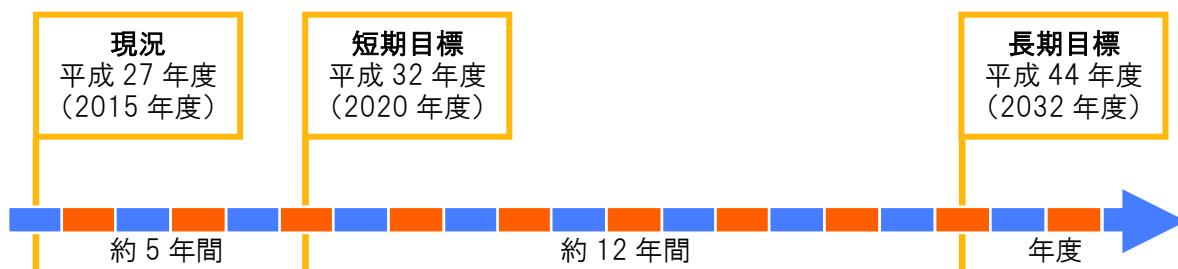


図 計画の位置づけ

2. 本計画の目標年次

本計画の目標年次は、都市計画マスタープランにおける目標年次等を踏まえ、短期目標を平成32年度、長期目標を平成44年度とします。



3. 計画の対象地区

本計画の対象地区は、JR行田駅前広場を含む巻里山町全域とします。



図 広域位置



図 対象地区

4. 計画の策定体制

本計画の策定にあたっては、学識経験者や公募市民等で構成された「JR行田駅前広場周辺再整備基本計画検討委員会（以下、検討委員会）」及び庁内の関係各課による「JR行田駅前広場周辺再整備庁内検討委員会（以下、庁内検討委員会）」を設置し、これらの議論を通じて、計画策定を行っています。

また、地元住民やJR行田駅周辺事業所の関係者等、関係者の幅広い意見を計画に反映するため、一般公募によるワークショップを開催し、対象地区の問題点やまちづくりの方向性、駅前広場の整備方針について議論を行い、市民提案書として委員会に報告しています。

なお、これらに加えて、JR行田駅前広場の利用実態調査や駅利用者や地域住民等を対象としたアンケート調査を実施し、計画策定に活用しています。

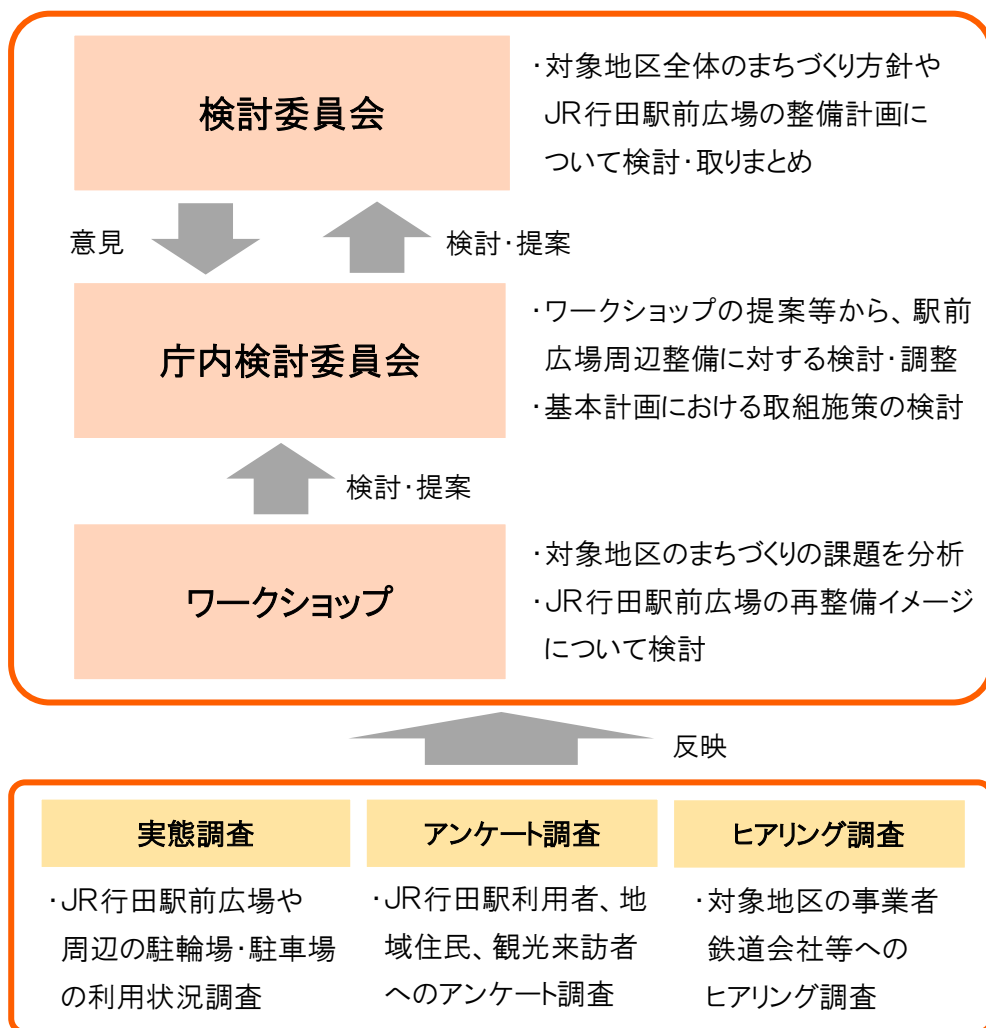


図 計画の策定体制

5. 計画の構成

本計画は、対象地区の現況やまちづくりの課題を分析し、これからのまちづくりの方針を立案しています。駅前広場周辺の再整備計画は、「JR行田駅を核とした拠点整備計画」と「地区拠点と相乗効果を発揮するまちづくり計画」の2つの内容から構成されています。

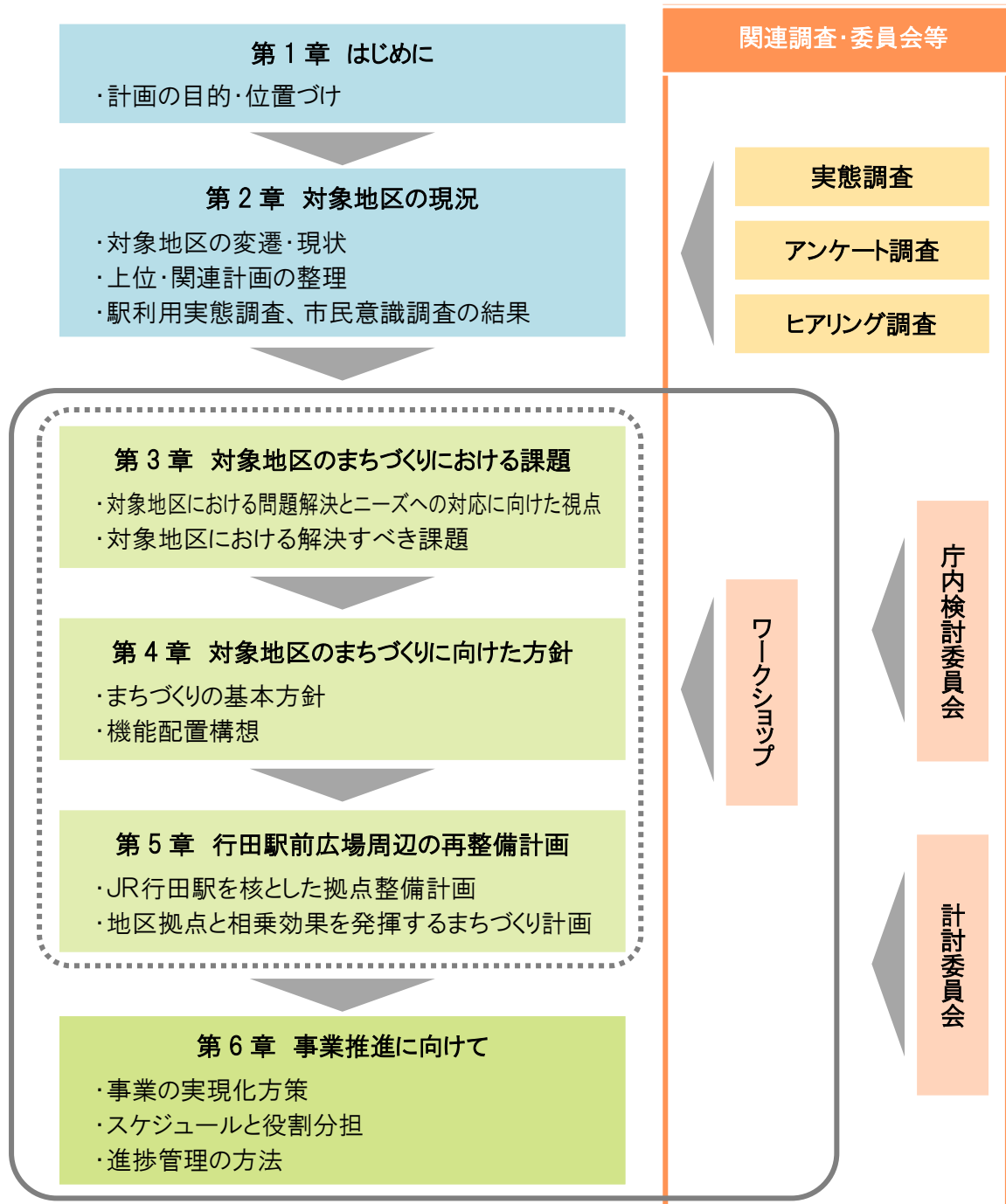


図 計画の構成